

市民の安全安心を守り 門司の遺構の記憶をつなぐ『5つの方策』

問い合わせ先
都市戦略局事業推進課 担当：一瀬 大庭
093-582-2469
都市ブランド創造局文化企画課
093-582-2391 担当：楠本 原田

区役所庁舎の建設(竣工)年月

区役所名	建設年	建替までの経過年数	建替年	経過年数
若松区役所	1922年(T11年) 9月	67	1989年(H 1年) 6月	35
門司区役所	1930年(S 5年) 4月	94	—	—
戸畠区役所	1933年(S 8年)12月	73	2006年(H18年)12月	18
小倉北区役所	1954年(S29年) 7月	44	1998年(H10年)11月	26
八幡東区役所	1962年(S37年)12月	62	—	—
小倉南区役所	1974年(S49年) 3月	50	—	—
八幡西区役所	1974年(S49年) 3月	39	2013年(H25年)4月	11

事業の必要性【現状と課題】各施設1

門司区役所



外壁のひび割れ・錆
(剥落防護ネット)



廊下の途中に階段
(車椅子、ベビーカー等の方の移動が困難)

3

事業の必要性【現状と課題】各施設2

門司生涯学習センター



天井の雨漏り

門司市民会館



外壁の剥落、鉄筋の露出

事業の必要性【現状と課題】各施設3

門司図書館



庇のモルタル(コンクリート)
落下防止ネット設置

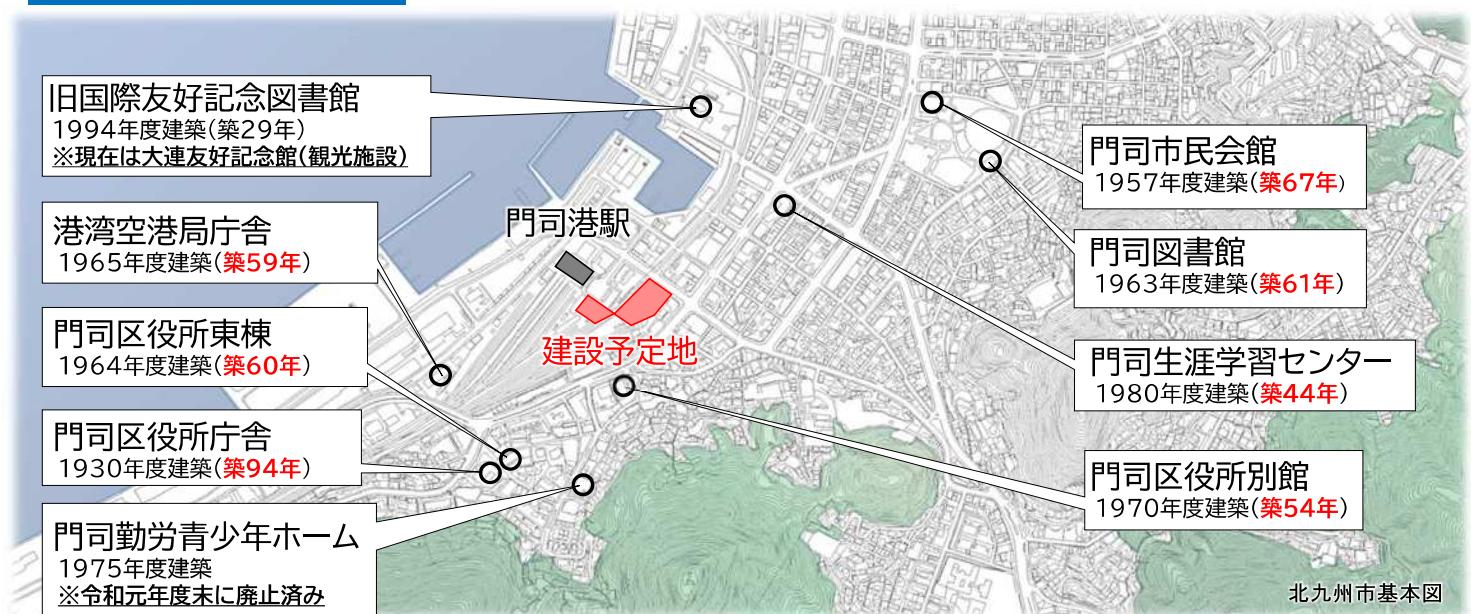
港湾空港局庁舎



設備配管の腐食

門司港地域複合公共施設整備事業の目的

集約対象施設



北九州市基本図

門司港地域複合公共施設整備事業のこれまでの経緯

- 平成27年度 『公共施設マネジメント実行計画』を策定
(モデルプロジェクトとして門司港地域複合公共施設の整備とその建設予定地を門司港駅周辺とすることを決定)
- 平成30年度 門司港地域複合公共施設の建設を門司港駅東側のJR用地とすることを決定
- 令和元～3年度 複合公共施設の基本計画・基本設計
- 令和4～5年度 複合公共施設の実施設計

※上記事項を決定する過程においては、隨時パブリックコメント等を実施

※平成27年5月以降令和5年度までに 延べ90回、286団体、1,805人に意見交換会等を実施

【遺構が出土して以降】

○令和6年5月から7月末までに 説明会：延べ16回、462人

今後のスケジュール

令和6年8月26日～11月13日	遺構の追加発掘調査(現地調査)
令和6年11月15日～	造成工事に着手
令和7年度中	複合公共施設の建築工事に着手
令和9年度中	複合公共施設の竣工

①

遺構の一部存置(そのまま残す)



機関車庫の基礎部分(低地部分)

②

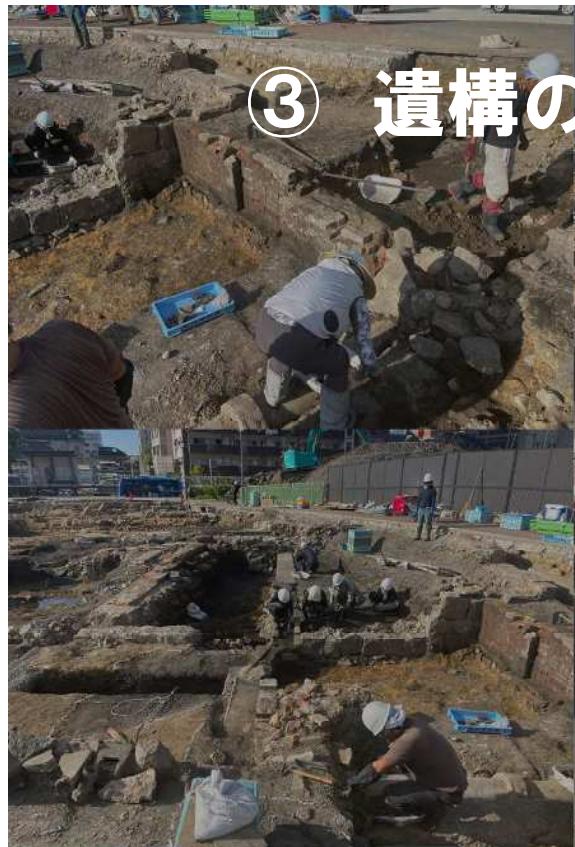
遺構の一部取り出し展示 “折尾駅方式”



写真イメージ(折尾駅舎構内)

③

遺構の丁寧な記録保存



埋蔵文化財発掘調査の様子

④

公共施設内に展示コーナーを設置（デジタルも活用）

立考古博物館

にんぱく

屏風

飛驒みやがわ考古民俗館

元寇船



写真イメージ(引用:日本文化財VRミュージアム)

⑤

子どもが学べる素材の作成

